

邑楽郡青少推だより 第10号

令和2年9月15日発行



「新型コロナウイルスのことを考えると嫌な気持ちになる」「すぐにイライラする」など、何らかのストレス症状を抱えている子どもが72%に上がることが、国立成育医療研究センターの調査で分かりました。この調査は、コロナ禍の子どもの心身の影響を調べる目的で、6/15～7/26にインターネットを通じて実施されたものです。

また、自分や家族が感染した場合、32%の子どもが「秘密にしたい」と回答しました。感染し回復した人と「あまり一緒に遊びたくない」は22%、「一緒に遊びたくない人が多いだろう」は40%に上り、子どももコロナによる差別を恐れたり、偏見を抱えていたりする実態も明らかになりました。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、感染者やその家族、最前線でウイルスと闘う医療従事者、物流を支える運送業者などに対する差別やいじめなどの社会問題も深刻化しています。

このような差別やいじめは、新型コロナウイルスに対する正しい知識を持たず、過度に不安や恐れを抱くことで、過剰な行動に走ってしまうと考えられます。

まずは、正しい知識を持つこと、そして、自分や周りの人を思いやる気持ちを持つことが大切です。私たち大人が手本となり、人間にとって本当に大切なことは「互いを思いやる心」だということを、子どもたちに伝えていきましょう。

国立成育医療研究センターでは、「子どもたちに何をどのように伝えたらよいのか」をわかりやすくまとめています。ぜひ参考にしてください。

- ①ご家族向けリーフレット編
 - ②親子でできるストレス対処編
 - ③子どもとできるセルフケア編
 - ④リラクゼーション編
 - ⑤お子さんの成長に応じたケア編
 - ⑥子育て中のあなたへ
 - ⑦頑張っている君たちへ 学校再開にむけてメッセージ
 - ⑧子どもと関わる大人の方へ
～子どもの自律神経とストレスのお話～
 - ⑨学校関係のみなさまへ 学校再開に向けて
- 資料：学校に通う君たちへ



*②親子でできるストレス対処編を
皆様に配布させていただきます。
ご一読ください。

発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101